

競技注意事項

- 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって競技を実施する。
※スタートにおける警告（イエロー）2枚で該当競技のみ失格とする。
規定外シューズの使用は、一切認めない。
- 招集は、トラック種目・フィールド種目ともに雨天練習場で行う。
招集開始時刻に競技者係・各種目の競技役員の点呼を受け、アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズの点検を受ける。
(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の招集点呼を受けられない場合は、第1出場種目の招集開始時刻までに競技者係に多種目同時出場届を提出して確認してもらい、指示を受けること。
点呼を受けない者は、棄権するものとみなし出場を認めない。

トラック競技は、競技開始25分前
フィールド競技は、競技開始40分前

- リレーのオーダー用紙の提出は、次の通りとする。
各種目第1組の招集完了時刻の2時間前～1時間前までに競技者係に提出すること。
リレーオーダー用紙は、プログラム最終ページのものを使用すること。
- プログラム記載の名前・ナンバー等に誤りがあれば、総務に申し出ること。
- アスリートビブスは、胸部・背部に確実につけること。その際、アスリートビブスの大きさは変えないこと。
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれか一方でもよい。
また、1500m、3000m S Cの出場者には腰ナンバー、3000m、5000m、競歩の出場者には別ナンバー、腰ナンバーを渡す。
フィニッシュ後は、係員（補助員）に返却すること。
- 800m以下のトラック種目の出場者（リレーは最終走者）においては、プログラム記載のレーン番号を確認し、各自が腰ナンバーを準備すること。腰ナンバーは右腰やや後方に確実に付けること。
- 800m以上のトラック種目は、フィニッシュ後、競技役員の指示に従うこと。
- スターティングブロックは、競技場備え付けのものを使用すること。
- やりは、各自持参のものを検査を受けて使用してもよい。検査は第1コーナーの用器庫で行う。
(検査時間は、男子9:55～10:10・女子13:10～13:25の間とする。)
- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りを目安とする。大会当日に審判員の判断で変更することがある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男走高跳	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以降3cmずつ
女走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	以降3cmずつ
男棒高跳	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3.30	以降10cmずつ
女棒高跳	1.50	1.70	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	以降10cmずつ

- 男子走幅跳は2ピットを使用し、2組に分けて競技する。
- 三段跳は男子10m・11m、女子9m・10mに踏切板を設置する。
- 競技場は全天候性であることから9mm以下の全天候性用のスパイクピンを使用すること。
(ただし、走高跳、やり投は12mm以下とする。)
- ①各校より補助員を2名出すこと。補助員は8時20分に1階ロビーに集まり、指示を受けてから任務へ就くこと。
②荷物は盗難に合わないよう、各自、各校で責任を持って管理すること。
③各校でビニール袋を持参し、出したゴミは責任をもって片づけること。
④清掃当番校代表者1名は、競技終了後に本部前に集合し指示を受けること。(トイレの清掃以外)